



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月3日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 木村 昌志
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員経営戦略室長 (氏名) 井上 洋二 (TEL) 03-6895-7004
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,160	11.7	2,020	4.1	2,206	7.8	1,607	15.6
2022年3月期第1四半期	5,517	12.1	1,940	40.8	2,046	43.9	1,390	42.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,815百万円(16.5%) 2022年3月期第1四半期 2,416百万円(795.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	61.97	—
2022年3月期第1四半期	52.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	41,720	35,203	84.4
2022年3月期	40,892	33,166	81.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 35,203百万円 2022年3月期 33,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	27.00	—	30.00	57.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	33.00	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	4.7	4,100	△5.8	4,100	△7.5	2,850	△7.4	109.89
通期	26,500	9.3	9,100	1.2	9,100	△1.4	6,300	△1.1	242.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	27,541,754株	2022年3月期	27,541,754株
2023年3月期1Q	1,608,474株	2022年3月期	1,608,474株
2023年3月期1Q	25,933,280株	2022年3月期1Q	26,256,942株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、行動制限の緩和を受けて個人消費は持ち直したものの、海外経済の一時的な悪化に伴う輸出の減少、製造業における原材料コストの増加に加え、サプライチェーンの停滞が景況感の下押しに作用しました。企業の設備投資は先送りしていた投資を再開するなど、緩やかな回復基調が継続しております。

海外では中国において、一部の地域で厳しい活動制限が実施されたことで、個人消費は低迷し、製造業の生産は減少しました。欧米諸国においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限は緩和されましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けて、エネルギー価格や資源価格の高騰、サプライチェーンの混乱が生じており、引き続き注視が必要な状況であります。

当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォンの出荷台数は減少しましたが、5Gの商用化・IoT・テレワークをキーワードに、技術革新及びデータ通信量の増加が進み、5G関連部品、データセンター等のインフラ、高機能電子デバイス向けに、主に半導体パッケージ基板の需要が増加しました。自動車産業は主に中国において、需要の拡大や一時的に半導体不足の緩和が見られたものの、回復基調が強かった前年同期に比べ、自動車の生産・販売台数は横ばいに推移しました。

その結果、当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

	前四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年比増減
売上高	5,517百万円	6,160百万円	11.7%増
営業利益	1,940百万円	2,020百万円	4.1%増
経常利益	2,046百万円	2,206百万円	7.8%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,390百万円	1,607百万円	15.6%増

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

電子分野

中国 スマートフォンの出荷台数は減少したものの、IoT及びテレワークをキーワードにその他の高機能電子デバイス向けプリント基板の需要が増加したことで、薬品需要は横ばいに推移しました。

台湾 サーバー、高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板が増加し、薬品需要は大幅に増加しました。

韓国 半導体市場は好調であったものの、一部の半導体パッケージ基板メーカーにおいて在庫圧縮の動きがあり、薬品需要は減少しました。

装飾分野

日本 半導体不足やサプライチェーンの停滞の影響から自動車の生産調整があり、薬品需要は減少しました。

中国 自動車産業の回復基調が継続し、一時的に半導体不足の緩和が見られたことで、薬品需要は増加しました。

	前四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年比増減
売上高	5,329百万円	5,881百万円	10.4%増
セグメント利益	2,215百万円	2,239百万円	1.1%増

(装置事業)

新型コロナウイルス感染症の影響による先送り案件の再開、及び電子分野めっき装置の新規投資需要の増加により、売上高、受注残高は大幅に増加しました。

	前四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年比増減
売上高	187百万円	278百万円	48.3%増
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△45百万円	21百万円	—
受注高	313百万円	165百万円	47.1%減
受注残高	278百万円	1,981百万円	612.3%増

(その他事業)

その他事業におきましては、売上高は0百万円（前年同期比28.4%減）となり、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ828百万円（2.0%）増加し、41,720百万円となりました。

流動資産は、主に売掛金、契約資産が減少したものの、現金及び預金、受取手形の増加により919百万円（2.8%）増加し、33,426百万円となりました。

固定資産は、主に建物及び構築物（純額）、建設仮勘定が増加したものの、繰延税金資産の減少により91百万円（1.1%）減少し、8,293百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,209百万円（15.7%）減少し、6,516百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少、法人税支払いによる未払法人税等の減少、賞与引当金の減少により1,151百万円（17.2%）減少し、5,560百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金の減少により57百万円（5.6%）減少し、956百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ2,037百万円（6.1%）増加し、35,203百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、装飾分野の自動車部品向け薬品は、短期的には半導体不足、部材不足などによる影響があるものの、長期的には微増基調で推移するものと予想されます。電子分野向け薬品は、5Gの普及、及び更なる技術革新に伴い、半導体パッケージ基板を中心に需要が拡大することが予想されます。このような状況を踏まえ、当社は長期的に目指すべき姿を「持続可能な成長を続けるグローバル企業」とし、事業をESG、SDGsに結び付けて経営する企業、どの国でも生き残ることができる企業を目指します。これを実現するために、中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）「Next 50 Innovation 2nd」を策定し、「コア事業の強化」、「ESG視点での経営基盤の構築」を基本方針に、取り組みを推進してまいります。2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表した第2四半期連結累計期間、及び通期連結業績予想の数値から修正等はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2022年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,519,073	20,462,902
受取手形	2,131,152	2,292,423
売掛金	6,104,224	6,087,268
契約資産	265,932	148,933
商品及び製品	2,546,395	2,500,864
仕掛品	50,518	56,789
原材料及び貯蔵品	1,035,295	1,051,365
その他	1,014,726	988,900
貸倒引当金	△160,303	△162,824
流動資産合計	32,507,015	33,426,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,398,156	3,475,337
機械装置及び運搬具（純額）	993,340	982,957
工具、器具及び備品（純額）	405,379	435,929
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	48,217	46,026
建設仮勘定	91,463	161,658
有形固定資産合計	5,459,382	5,624,733
無形固定資産		
その他	55,162	54,031
無形固定資産合計	55,162	54,031
投資その他の資産		
投資有価証券	1,672,695	1,653,811
繰延税金資産	788,461	538,837
その他	409,774	422,494
投資その他の資産合計	2,870,931	2,615,143
固定資産合計	8,385,476	8,293,908
資産合計	40,892,491	41,720,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,817,220	1,162,647
電子記録債務	919,638	879,504
短期借入金	369,222	373,659
1年内返済予定の長期借入金	335,926	321,772
リース債務	12,673	12,813
未払法人税等	1,461,117	853,830
賞与引当金	387,231	201,894
その他	1,409,166	1,754,104
流動負債合計	6,712,196	5,560,226
固定負債		
長期借入金	540,698	461,942
リース債務	63,042	59,786
退職給付に係る負債	80,138	91,587
繰延税金負債	27,649	38,086
資産除去債務	252,345	255,289
その他	50,046	50,046
固定負債合計	1,013,921	956,739
負債合計	7,726,117	6,516,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,245,044	1,245,044
資本剰余金	1,186,499	1,186,499
利益剰余金	33,303,033	34,132,060
自己株式	△4,567,395	△4,567,395
株主資本合計	31,167,182	31,996,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,075	56,038
為替換算調整勘定	1,877,115	3,151,318
その他の包括利益累計額合計	1,999,191	3,207,357
純資産合計	33,166,373	35,203,566
負債純資産合計	40,892,491	41,720,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 6 月 30 日)
売上高	5,517,021	6,160,299
売上原価	1,971,073	2,419,221
売上総利益	3,545,948	3,741,077
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	546,362	583,599
賞与	161,737	204,648
退職給付費用	34,716	33,678
減価償却費	88,354	98,575
貸倒引当金繰入額	904	-
その他	773,361	800,466
販売費及び一般管理費合計	1,605,436	1,720,968
営業利益	1,940,511	2,020,109
営業外収益		
受取利息	7,553	9,893
受取配当金	16,482	22,271
為替差益	43,427	198,028
貸倒引当金戻入額	-	7,130
その他	52,356	6,255
営業外収益合計	119,819	243,579
営業外費用		
支払利息	2,043	2,865
持分法による投資損失	10,741	54,224
その他	751	402
営業外費用合計	13,537	57,492
経常利益	2,046,793	2,206,197
特別利益		
持分変動利益	-	76,268
固定資産売却益	472	2,836
投資有価証券売却益	385	-
特別利益合計	857	79,105
特別損失		
固定資産売却損	34	-
固定資産除却損	266	652
子会社清算損	1,775	-
特別損失合計	2,076	652
税金等調整前四半期純利益	2,045,574	2,284,650
法人税、住民税及び事業税	339,262	380,502
法人税等調整額	316,073	297,122
法人税等合計	655,335	677,624
四半期純利益	1,390,238	1,607,025
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,390,238	1,607,025

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,390,238	1,607,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,258	△66,037
為替換算調整勘定	1,022,283	1,226,644
持分法適用会社に対する持分相当額	18,017	47,558
その他の包括利益合計	1,026,041	1,208,165
四半期包括利益	2,416,280	2,815,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,416,280	2,815,191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 1 四半期連結累計期間(自2022年 4 月 1 日 至2022年 6 月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年 6 月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,329,116	187,634	5,516,750	271	5,517,021	—	5,517,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,329,116	187,634	5,516,750	271	5,517,021	—	5,517,021
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,215,598	△45,939	2,169,659	△4,357	2,165,301	△224,789	1,940,511

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワイン製造用ブドウ・苗木の育成・販売等であります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△224,789
合計	△224,789

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	薬品事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,881,771	278,333	6,160,105	194	6,160,299	—	6,160,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,881,771	278,333	6,160,105	194	6,160,299	—	6,160,299
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,239,724	21,852	2,261,576	△4,011	2,257,565	△237,455	2,020,109

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワイン製造用ブドウ・苗木の育成・販売等であります。

2. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△237,455
合計	△237,455

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。